

ご挨拶 調布三曲協会創立60周年を迎えて



調布三曲協会会長
美蔦洋子



本日は、調布三曲協会創立60周年記念演奏会にご来聴いただきまして、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

調布三曲協会は昭和37年の発足以来、伝統を重んじながらも、新しい曲に取り組んでこられた諸先輩や現会員の情熱と努力で、今年60年目を迎える事が出来ました。

今回は、たづくり文化会館くすのきホールが改修工事のため、調布市グリーンホール大ホールでの開催となり、幕開けは、会員と門下生26名による「千鳥の曲」を演奏いたします。休憩後、昨年秋の調布市民文化祭演奏会に出演した「ミライ伝統教室 和の響き 箏」の市内小学生12名と「調布市立調和小学校 伝統文化親子教室」の小学生8名、三曲会員12名で「さくら21」を合奏いたします。

2年前からの新型コロナウイルス感染が収束しない中、音楽を志す者にも厳しい現実が続きますが、会員一同これからも精進して参ります。今後とも皆様の変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に、ご祝辞をいただきました調布市長 長友貴樹様、調布市文化協会会長 加藤弘子様に厚く御礼申し上げます。





創立60周年記念演奏会を祝して



調布市長
長友貴樹



調布三曲協会「創立六十周年記念演奏会」が開催されますことを衷心よりお慶び申し上げます。

伝統的な芸術文化である三曲を広く市民に向けて披露いただく本演奏会は、市民文化の向上、発展に大きく貢献するものであり、60年の長きに亘り、皆様が継続してこられた熱意あふれる活動に心から敬意を表します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きの不透明さや閉塞感を感じる今だからこそ、人々の心と生活にうるおいをもたらす芸術・文化の重要性を改めて実感しております。そうした意味でも多くの関係者の皆様のご尽力により、困難を乗り越えて今回の開催を迎えられましたことを大変意義深く、心強く感じる次第です。

市は、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、より多くの市民が芸術・文化に親しむことができるまちづくりに力を注いでおり、伝統文化を通じて、交流の輪がさらに広がることを期待しております。

結びに、皆様の日々の研鑽によって創り上げられた本演奏会の成功を祈念申し上げるとともに、調布三曲協会の益々のご発展を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

